

ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)

ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)は感染症法上5類の全数把握疾患である。疾患の定義は、ウイルス感染を原因とする急性肝炎(B型肝炎、C型肝炎、その他のウイルス性肝炎)であり、慢性肝疾患、無症候性キャリア及びこれらの急性増悪例は含まない。千葉県では、2011年8例、2012年4例、2013年4例、2014年6例、2015年13例、2016年1～28週に4例の届出があった。

2011年から2016年28週までに届出された39例の発生状況は次のとおりだった。

病型別ではB型33例(84.6%)、C型3例(7.7%)、サイトメガロウイルス3例(7.7%)であった(表3)。

病型がB型33例の性別は、男性24例(72.7%)、女性9例(27.3%)であった(表3)。年齢群別では、20代～40代が24例で72.7%を占めた(表3)。診断方法別では、血清検査によるIgM HBc抗体の検出(明らかなキャリアからの急性増悪は含まない)が32例(97.0%)、その他の方法(PCR法)が1例(3.0%)であった。症状等は、黄疸28例(84.8%)、肝機能異常26例(78.8%)、全身倦怠感23例(69.7%)、褐色尿22例(66.7%)、発熱9例(27.3%)、嘔吐7例(21.2%)であった(複数報告あり)。

病型がC型3例の性別は、男性2例(66.7%)、女性1例(33.3%)であった(表3)。年齢群別では40代2例(66.7%)、50代1例(33.3%)であった(表3)。診断方法別では、ペア血清での第2あるいは第3世代HCV抗体の検出が3例(100.0%)、血清でのHCV抗体陰性かつHCV RNA又はHCVコア抗原の検出が1例(33.3%)であった(複数報告あり)。症状等は、肝機能異常3例(100.0%)、黄疸2例(66.7%)、全身倦怠感1例(33.3%)であった(複数報告あり)。

病型がサイトメガロウイルス3例の性別は、男性3例(100.0%)であった(表3)。年齢群別では30代1例(33.3%)、50代1例(33.3%)、70代1例(33.3%)であった(表3)。診断方法別では、IgM抗体3例(100.0%)、IgG抗体1例(33.3%)であった(複数報告あり)。症状等は、肝機能異常3例(100.0%)、全身倦怠感2例(66.7%)、黄疸1例(33.3%)、発熱1例(33.3%)であった(複数報告あり)。

表3 2011年～2016年28週千葉県のウイルス性肝炎 病型別・性別・年齢群別届出数

病型	B型		C型		サイトメガロウイルス	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
5歳未満	0	0	0	0	0	0
5～9歳	1	0	0	0	0	0
10代	0	0	0	0	0	0
20代	8	1	0	0	0	0
30代	5	3	0	0	1	0
40代	5	2	2	0	0	0
50代	4	1	0	1	1	0
60代	1	1	0	0	0	0
70代	0	1	0	0	1	0
合計	24	9	2	1	3	0

<参考>

厚生労働省 肝炎総合対策の推進

URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou09/index.html>

国立感染症研究所病原微生物検出情報

<特集>A型肝炎(IASR Vol. 36 No. 1 (No. 419))

URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-vol36/5349-iasr-419.html>

<特集>E型肝炎(IASR Vol. 35 No. 1 (No. 407))

URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-vol35/4278-iasr-407.html>